年度 2008 学期 前期	曜日・校時	火曜日・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の構造(器官構造・機能と疾病) Structural and Molecular Biology (Structure and function of human organs, and their diseases)			
対象年次 1・2年次	講義形態	講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:関根一郎 /Eメールアドレス:sekine@nagasaki-u.ac.jp/研究室:医学部 原爆後障害医療研究施設 3階/ TEL:819-7105(内線 7105)/オフィスアワー:木曜日 13:00~17:00				
担当教員(オムニバス科目等)	中島正洋	中山敏幸		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業の狙い:国民の健康への関心が高まっているなか、社会人として、人体についての基礎的な知識を学ぶことは意義深いと考える。本授業では、人体臓器の基本的な構造、生理的機能を学び、その破綻である疾病と病態を理解することを目的とする。 授業方法:教科書は用いず、授業計画に沿ったプリントや資料を配付する。参考文献は適宜照会する。 授業到達目標:主要臓器の構造と機能、及び代表的疾病の概略を説明できるようにする。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 消化器・呼吸器・循環器・泌尿器・内分泌系・リンパ造血器・皮膚・感覚器・泌尿器・生殖器の構造・機能・疾病について。 第1回消化器(消化管)の構造・機能 第2回消化器(肝・胆・膵)の構造・機能 第3回呼吸器の構造・機能 第4回呼吸器の疾病 第5回循環器の構造・機能 第6回消化器の疾病 第7回脳神経系の構造・機能と疾病 第8回循環器の疾病 第9回泌尿器の疾病 第10回内分泌系の構造・機能と疾病 第11回リンパ・造血器の構造・機能と疾病 第12回皮膚・感覚器の構造・機能と疾病 第13回泌尿器の疾病 第14回生殖器の構造・機能と疾病 第15回まとめ				
キーワード				
教科書・教材・参考書	講義ごとに配布するプリント。			
成績評価の方法・基準等	毎回レポートを提出させ(100%)評価する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				